やよいTOPIX　本と出会う。

フレーズ&センテンス ①

皆さんは「LGBT」という言葉の意味を知っていますか？　私は、「知っている」と思っていました。しかし、この本を読んで、自分がいかに狭い範囲のことしか知らなかったのか、痛感したのです。

この本にはLGBT＋に関わる様々な用語の解説と、約40名のインタビューが載っています。この本を読んでいて驚いたのは、こんなにもたくさんのジェンダーやアイデンティティを表す言葉があり、ここに載っている40名は誰一人として同じ感じ方をしている人はいない、ということです。でも、考えてみればそれは当たり前のことなのかもしれません。私たちは、見た目も、育った環境も、一人一人違います。自分の「普通」と相手の「普通」は違っているし、それが「普通」なのです。けれど、しばしば私たちはそのことを忘れがちです。そしてそのために、人を傷つけてしまうこともあるかもしれません。

当事者の方はもちろん、自分には関係ないと思っているすべての人に読んでほしい1冊です。（丸山）

ニッポンの文化探訪 ③

4月はお花見のシーズン。わいわい賑やかに集まって、桜を眺めるのは楽しいですよね。とは言いつつも、日本には「花より団子」なんて言葉もある訳でして…。今月は、桜に負けないほど綺麗な、日本の伝統食の絵本をご紹介します。

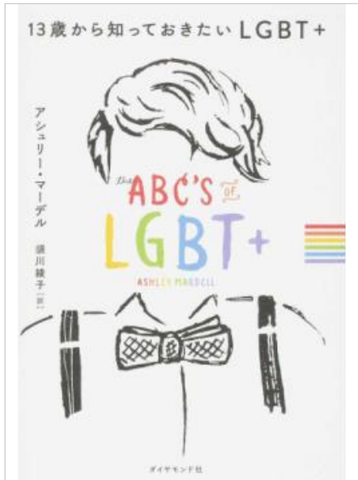
『和菓子のほん』では、透明感のある美しいイラストで和菓子を紹介しています。特に読んでいただきたいのは、8～9ページの可憐な桜の和菓子たち！　一面のピンク色に思わずうっとりしてしまいます。一体どんな味や食感がするのでしょうか、想像するだけでうきうきとした気分になります。

他にも、春夏秋冬の和菓子や、和菓子作りに用いる型、器なども併せて紹介されています。子ども向けの絵本ではありますが、大人も充分楽しめます。

桜餅やみたらし団子など、定番の和菓子も素敵ですが、今年のお花見は趣向を変えて、様々な種類の和菓子を並べて楽しんでみてはいかがでしょうか。（新井）

「自分にふさわしい最高の表現方法は、自分で決めればいいのです。」

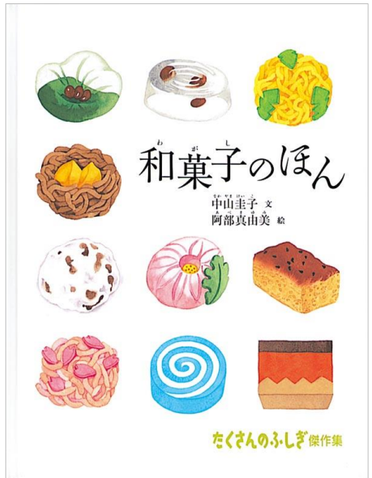
① 『13歳から知っておきたいLGBT＋』
アシュリー・マーデル／著　須川 綾子／訳　ダイヤモンド社



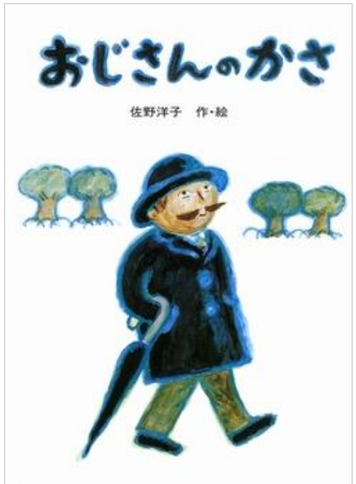
② 『はじめての小さな庭「日陰の庭」から「ベランダ」、「室内」まで』
杉井 志織／監修　学研プラス

こんな本もありますよ
『カーリーさんの庭』
ジェイン・カトラー／作　ポプラ社
『大名庭園 Shotor travel 全国38所、名園巡り』
サライ編集部／編　小学館

③ 『和菓子のほん』
中山 圭子／文　阿部 真由美／絵
福音館書店



④ 『おじさんのかさ』
佐野 洋子／作・絵　講談社



読書の窓 ②

4月28日は庭の日。日本造園組合連合会によって「428(良い庭)」と読む語呂合わせから制定されました。

また、当時は翌日の4月29日が「みどりの日」であったため、人々の庭や造園への関心を高める目的もあったそうです。

今回ご紹介するのは、「趣味でガーデニングをやってみたい」「インテリアのアクセントに植物を置きたい！」など初めて植物を育てる人におすすめの『はじめての小さな庭「日陰の庭」から「ベランダ」、「室内」まで』という本。日当たりや風通し、土壌など、自分の家ではどんな植物を育てるのが向いているのか、分かりやすく説明されています。

花木、ハーブ、果実、多肉植物、サボテンなど、多種多様な植物の育て方が載っているので、思い描く庭のイメージに沿った植物が見つけられるのも魅力の一つ。

ブロガーの実例も紹介された、素敵な庭作りのためのアイディアが詰まった一冊です。（生盛）

再生館セレクト ④

こちらのコーナーでは、あだち再生館のおすすめ講座と、講座に関する本を紹介します。

4月のおすすめ講座は、リサイクル体験講座「傘の手入れを学ぼう」です。家庭で壊れて放置されている傘を持ち込み、上手に長く使用する手入れ方法を学びます。

さて、「傘」と言われて思い出すのは、絵本『おじさんのかさ』。立派な傘を濡らしたくないおじさんは、雨の日でも傘をたたんだまま。しかし、子どもたちの歌声を聴いて、思わず傘をひらいてしまいます。雨の日に傘をさして出掛けるのが、ちょっと楽しみになる絵本です。

リサイクル体験講座「傘の手入れを学ぼう」

- ■日時：4/21（土）10時～12時
- ■対象：区内在住・在勤・在学の方
- ■申込：不要
- ■費用：無料（部品代別途）
- ■持ち物：手入れを学びたい傘（おひとり1本限定）
- ■場所・問い合わせ先：
  あだち再生館（月曜日、祝日休館）
  〒120-0011 中央本町 2-9-1
  TEL：3880-9800　FAX：3880-9801